

学校教育目標	教育目標 一、ものごとを正しく深く考え創造力の富んだ人になる（学習） 一、健康な体で豊かな心情の人になる（心身） 一、思いやりの心をもち進んで協力する人になる（協調）	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像 【学校像】①生徒が大切にされ、厳しさのなかに温かさや優しさのある指導をする学校②教師と生徒が強い信頼の絆で結ばれている、保護者・地域に信頼される学校③組織的に運営され、教職員個々の持ち味が生かされ、活力のある学校 ④授業時間の確保はもちろん、質の高い授業を元にした授業が展開されている学校 【生徒像】①意欲的に学力向上に努力する生徒②思いやりの気持ちと豊かな心をもち、ルールを守る生徒③積極的に体力向上に努力する生徒④物事に真摯に取り組み、誠実な生徒 【教師像】①生徒に対する愛情と厳しさをもち、公平に接し、共感的態度で指導に当たる教職員 ②常に授業改善に努め、わかる授業を展開し時代の求める力を身に付けさせる教職員 ③職務能力向上に努め、持ち味を発揮して、学校運営に主体的・組織的に関わる教職員 ④あいさつ・服装を正す・提出期限の遵守など、率先垂範して生徒の手本となる教職員
前年度までの本校の現状	成果 学力向上について、本校では昨年度から家庭学習ノートの取組を行っている。家庭の協力もあり学習習慣の定着が図れてきている。昨年度は1、2年生のみの取組であったが、今年度は全年で実施し、全校体制とする。教員は授業改善についての意識を持っており、ICTの活用や生活の中の身近な題材を活用するなど、「分かる授業」「興味が持てる授業」を皆が目指している。生徒は、学力調査や定期考査でも粘り強く最後まで取り組む姿勢が身に付いてきており、徐々に前年度までに比べて学力の向上が見えている。	課題 体力向上について、「令和6年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活習慣等調査」において、どの学年も結果が低調であった。それを受け、保健体育科の授業では、毎回の授業の導入の際にランニング、補強運動を実施することで基礎体力を身に付けさせたり、各単元の種目に生モルステップを取り組ませ、技能を習得させることで運動の楽しさを感じさせつつ、体力を伸ばせるように取り組んでいる。昨年度も本校は不登校の出席率が非常に低い。学校にすぐ遠のいている生徒への支援を充実させるため、校内で不登校コーディネーターを6名定員した。生徒の状況把握、連絡・相談体制の充実を目指して、SC、SSW、不登校巡回教員や区教育研究所・学習サポート教室などとも連携して対応を充実する。また、エンカレッジルームにおいて、教員による授業を始める。また、第二のエンカレッジルームを設置し、運用を開始する。担任やエンカレッジサポーターとも連携をとって、生徒の状況に合わせて柔軟に対応する。

[illegible]

[illegible]